

## 本時のねらい

- ・自分でアンケートを作成し、集計した結果をグラフに表し、新聞にまとめたことを説明する。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Google Formsを活用して、アンケートの作成・集計・グラフ化を行うことをねらいとした。
- ・Google ドキュメントを活用することで、アンケート結果の配置や文章の表現等を何度も練り直すことができる。その特徴を生かし、グラフを活用したよりわかりやすい新聞を作成することをねらいとした。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Chromebook ・プロジェクター ・授業支援ソフト (Google Classroom)
- ・アンケート集計用ソフト (Google Forms) ・文書作成用ソフト (Google ドキュメント)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の活動のめあてをつかむ。 「アンケート結果をグラフ化して、新聞を作ろう」</li> <li>○端末の操作方法について説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に Google Forms で作成・実施したアンケートの結果をプロジェクターで投影し、グラフ化する手順を説明する。また、そのグラフを Google ドキュメントに貼り付けて新聞にする手順、操作方法等について説明する。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞を作成する。</li> <li>・児童が作成したアンケートの結果から、クラスの傾向を考察し、自分の考えを新聞にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Forms からアンケートの結果を示すグラフをコピーし、Google ドキュメントに貼り付けて新聞づくりに活用する。この時、グラフの種類 (円グラフか棒グラフ) を選択し、変更することができるので、新聞をよりわかりやすいものにするにはどうすればよいか考えさせる。</li> </ul>
貼り付けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の提出とまとめ。</li> <li>・Google Classroom を活用して、作成した新聞を提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動で作成した複数の新聞をプロジェクターに投影し、紹介することで、アンケート結果をグラフに表すと視覚的に分かりやすくなる効果や説得力が増すことなどの良さに気づかせる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：本時の活動での操作方法を説明する場面

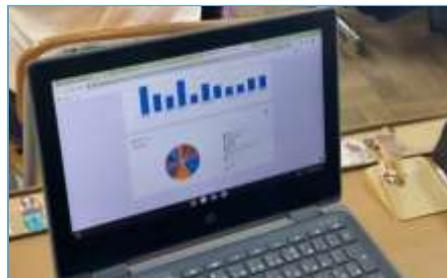


写真2：アンケート結果からクラスの傾向を考察する場面



写真3：アンケート結果のグラフを活用しながら新聞を作っている場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・Google Forms を活用することで、アンケート結果をグラフ化して見ることができるため、児童が意欲的に活動していた。
- ・Google ドキュメントを活用して新聞にまとめることで、児童がグラフや文章のレイアウト、文字の大きさなどについて、見やすくわかりやすくするために、試行錯誤しながら工夫しようとする様子が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

Google Forms を活用することで、アンケートの作成、実施、集計にかかる時間が短縮され、児童がアンケート結果をもとに考察する時間を十分に取ることができた。また、アンケートを実施した後も各質問項目の様式を「ラジオボタン」や「チェックボタン」に変更することで、円グラフにするか棒グラフにするかを選択することができる。このように、アンケート実施後にもグラフの形式を変更することが可能なため、児童が「どちらのグラフの方がよりわかりやすいか」を試行錯誤しながら、体験的に学習することができた。